

聞 ・ 聞 ・ 聞

発行責任者 浄土真宗本願寺派 正善寺 住職 酒井光義 平成20年5月29日
〒802-0045 北九州市小倉北区神岳二丁目 10 番 31 号 電話 093 (541) 2409 番

あのね、お参りしたよ・・・

平成 20 年度 初参式

去る5月18日、平成20年度の「初参式」が行われました。今年は3人が参加、お姉ちゃんも応援に来てくれました。ありがとうございました。とてもお利口で家族の方と一緒に参りできました。お子さまの今後の健やかな成長を心より念じます。



前列左側より

わたなべ しゅんすけ

しまだて りか

さかい れん

渡邊 俊介くん(0.7才)

嶋立 理花ちゃん(0.3才)

酒井 レンくん(0.3才)

最近生まれたお子たち、また今回参加できなかった方
来年にはぜひどうぞ。お待ちしております。

初参式あれこれ

式章かけて、お念珠もって



お姉ちゃんが先にし
てあげるね！のの
さま見ているね！

わたしもしたよ！
ナムナムっていう
んだよ！

初めてするね！お母さん
もココを卒園したよ！伯母
ちゃん(?)もだよ！

親鸞聖人の誕生日を祝う

降誕会法要



餅
ま
き



こちらに投げてー 取りましたよー と賑やかに！ 総代さんも頑張ってます！

今年は、例年の祝宴を取りやめ、「正信偈」のお勤めの後、住職法話、それから景品抽選会を行いました。今年も沖崎商店さんよりお野菜果物賞品たくさんご寄付いただきました。いつも有難うございます。最後に、初めての試みで「餅まき」をしましたが、久しぶりに昔を思い出しての楽しいひと時でした。なお、外の園庭での予定でしたが、安全のため本堂で行いました。来年も行います。子ども達と一緒に集まりください。

あじさいの花

まるくまるく 形のよいものになろうとする やさしい心のあじさいの花
きのうよりもきょうと
新しい色に なろうとする
雨の日の あじさいの花



この4月より
大学生となりました。京都で頑張っています。
長女 要子

ご 案 内

永 代 経 法 要

と き 平成20年6月5日より6日まで

	5日(木)	6日(金)
昼 席	午後1時30分	午後1時30分

講 師 山口県宇部市 西 法 寺

本願寺派布教使 齋 藤 芙 蓉 師

どうぞお誘いあわせのうえお参り下さい。

小倉組仏教婦人会総会・研修会

6月10日(火) 13:00より16:00頃まで
大手町 永照寺 講師 清胤弘英師

小倉組仏教壮年会総会・研修会

6月14日(土)
17:00より18:30まで
三郎丸 法泉寺 講師 前田彰道師
懇親会 19:00より 観山荘本館

旅行のお知らせ

10月10日(金) 日帰りバスツアー 熊本城へいざ出陣!

昨年に引き続きの「日帰りのバスツアー」です。予定を空けておいてください。
詳しくは次回にお知らせいたしますが、希望の方は前もって申し込みください。
みんなで楽しい一日を過ごしましょう。

もうひとつのお知らせ 京都、西本願寺参拝旅行のご案内

本年11月27日(木)より29日(土)まで(二泊三日)の予定で、秋の京都へ!

本山本願寺参拝、大谷本廟への納骨法要、念仏奉仕団参加

として旅行を計画しています。観光も忘れずにありますよ! 京都の紅葉は素敵です!!
皆さんの参加お待ちしております。(10名から15名の予定)
詳しくは次回の正善寺だより配布時にご案内、お知らせいたしますが、
準備の関係上、参加希望の方は前もって申し込みください。

行事ご案内 【如来大悲の恩徳は 身を粉にしても報ずべし】

盂蘭盆会 (盆会)

(うらぼんえ)

8月13・14・15日はお盆です。正しくは「盂蘭盆会」といいます。

お寺での特別の法要は致しませんけどうぞ自由にお参り下さい。納骨所利用の方はぜひおいで下さい。なお、お盆の門徒宅お参りは10日前後より実施しています。都合のある方は、早めにお寺に申し込み連絡下さい。

夏のつどい

とき 8月24日(日)14:00~19:00
ところ 神岳保育園園庭
参加対象 自由
イベント バザー各種 ゲーム大会
園児の盆踊り
園児・睦会の祇園太鼓披露
神岳保育園・父母の会主催

かすみ草の会出店参加

次回の法要のご案内

両日とも引き続きお参りください。

秋季彼岸法要 前坊守「酒井カスミ」十三回忌法要

■平成20年9月11日(木) 昼席1時半 ■平成20年9月12日(金) 昼席1時半

【講師】(小倉北区字佐町・西教寺住職) 【講師】(八幡東区宮の町・慈光寺住職)

日野宣之師

柳原浩文師

編集後記

『ありがとう。母と娘二人で過ごせた楽しい数日間でした。』下宿で別れて京都駅に向かう私の携帯への娘からのメール。「元気でね!」とさっき別れたばかりなのに、

もう切なくて寂しくて最終の新幹線に乗った時には涙がこぼれて仕方ありませんでした。

小倉へ戻って数日後、婦人会の方々にこのことを話すと「分かる、分かる」と「要子ちゃんの気持ちも、坊守さんの気持ちも分かるよ」と優しい言葉。そしてその時、「自らの在り方に痛みを感じたならば、人の痛みに関われる」と、以前、浄土真宗のカレンダーに書かれていた詩を思い出しました。お寺の婦人会の方々は、(私の生命の誕生と、愛情を注いでくれた大切なお父さん、お母さん。共に人生を歩んだ愛しい愛しいご主人様。自分の生命を懸けて生み育てた我が子)を亡くしたことが縁で、お寺へ足を運ばれ、お念仏を通して出遇えた方々です。どれほどの涙を流され、悲しみや辛さを乗り越えてこられたのでしょうか。そして今は、優しく相手を包み込む輝く人になっておられるのです。乗り越えてこられた事は何も話さなく、ただ相手に寄り添い「分かる、分かる」といわれるその言葉に大切な重みを感じます。悲しいこと、寂しいことは山のように沢山あるけれど、仏様に見守られて、お念仏を通してお互いに「分かる、分かる」といえる世界におらせてもらっていることと、ただただ感謝です。数日後私から娘へのメール。「お母さんも頑張ります。いつの時も、仏様と一緒にあなたのことを見張っています。いや、見守っています。」笑いと・・・。

永代経法要 どうぞお参りくださいませ。心よりお待ちしております。 合 掌